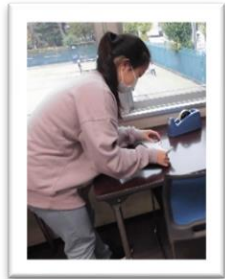


YAペーパー No. 45

ブラインドブックフェア準備中！😊



2022.12 発行
くにたち中央図書館

今年もやります！

ブラインドブックフェア

真冬のくにたち図書館に、新聞紙に包まれた本「ブラインドブック」が並びます。

本を選ぶ手がかりは、YA すたっふと図書館職員、そして市民の皆さまが手作りした紹介文です！

運命の一冊に出会えるかも☆彡

福袋みたいに、わくわくしながら選んでね！

〈期間〉令和5年1月4日（水）～1月30日（月）

〈場所〉中央図書館・北市民プラザ図書館

♪おすすめ本の紹介文を募集中♪

あなたが好きな本の魅力を誰かに伝えてみませんか？

ホームページでダウンロードできる「コメントシート」におすすめ本の好きなどところ等を書いて、図書館にお持ちください！

詳しくは、くにたち図書館ホームページをチェックしてね。

ブラインドブックフェアの

おすすめ本紹介文を書いてみませんか？

① くにたち図書館で本を選ぶ。



② 選んだ本のおすすめポイントをシートに記入。



③ シートの下部に本の題名・著者名・出版社名を記入。

Form with fields for book title, author, and publisher. Includes a red arrow pointing to the fields and a note: '※月 日までにお返しください。' and '※この本の紹介文を書く場所。おすすめポイント欄で記入してください！'.

④ 完成！専用ポストに投函 or 職員にお渡しください！





12月は人権月間！

子どものケンリを考えよう



4作の短編集の中でも小林深雪さんの『女子力なんてない』をおすすめします。

「女子力」「女らしく」「男らしく」、「それって一体なんなのだろう」と考えずにはられない作品。

ほかの3作品もぜひ読んでみてください。



『わたしを決めつけないで』
(小林深雪[他]：著/講談社/2018.12)



あなたはヤングケアラーを知っていますか？主人公の麦菜は、高校生。祖母を介護する母を手伝ううちに、自分は家族のことが好きなのか、嫌いなのかを考えるようになります。

麦菜は学校と家庭の両立ができるのでしょうか。



『ドーナツの歩道橋』
(升井純子：著/ポプラ社/2020.3)



障害者と聞くとどういう人をイメージしますか？〇〇ができない人と答える人が大半でしょう。けれどそれだけの枠で当てはめていいのでしょうか。この本は【障害者】という言葉やイメージを歴史と共に解説し、実際にあった障害者の人たちが起こした運動についても紹介しています。私たちが持っている何気ない【普通】という概念は、ほんとうに普通なのか。

多角的な視点から見つめなおすことができる一冊。



『障害者ってだれのこと?』
(荒井裕樹：著/平凡社/2022.7)



台湾人の両親をもち、2歳から日本に住んでいる小説家の温又柔（おん ゆうじゅう）さん。「中国語ができない日本育ちの台湾人」である温さんは、「わたしの「国語」は何語なんだろう？」という悩みを長年抱えていました。

「日本語は日本人のためだけのものじゃない。」——温さんと一緒に言葉について考えてみませんか？



『「国語」から旅立って』
(温又柔：著/新曜社/2019.5)

国立市では、12月に人権月間があります。

“人権”ときくとムズカシク感じるかもしれませんが、「いじめ・虐待・ジェンダー・差別」など、YA世代のみんなにとって身近な問題も人権に関係があるんです！

そこで！中央図書館のYAコーナーで“子どものケンリを考えよう！”という特集棚を作りました！

国立市オンブズマン事務局とYAすたっふのコラボ特集です☆彡

この機会に「子どものケンリ」についてちょこっと考えてみませんか？

誰でも「安心」「自信」「自由」のケンリがあるのですから！

上記の本は、くにたち図書館に所蔵しています。貸出中の場合は、予約をしてね☆